

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

### 京都府立丹後郷土資料館

国史跡「丹後国分寺跡」と、日本三景の一つ天橋立を見おろす絶景の地にある。丹後は古来から日本海交易が盛んで、藤織りや伊根浦の捕鯨など独特の歴史や文化を有している。

資料館は国宝海部氏系図や重文の青龍三年銘方格規矩四神鏡、籠神社経塚出土品などを保管し、敷地内には1840（天保11）年に建てられた、宮津藩大庄屋の旧永島家住宅の母屋を移築し、昔の暮らしがわかる道具類も多数展示している。

#### 1. 京都府立丹後郷土資料館の状況

##### 施設の基本情報

- ◆ 博物館種別：登録博物館
- ◆ 公式HP：<https://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/cms/>

※令和6年7月22日から令和9年秋（予定）までリニューアル工事のため臨時休館中。



▲リニューアル後の  
外観イメージ（東南側）



▲撮影場所（みやづ歴史の館）  
※本施設は休館中のため  
撮影はみやづ歴史の館で実施

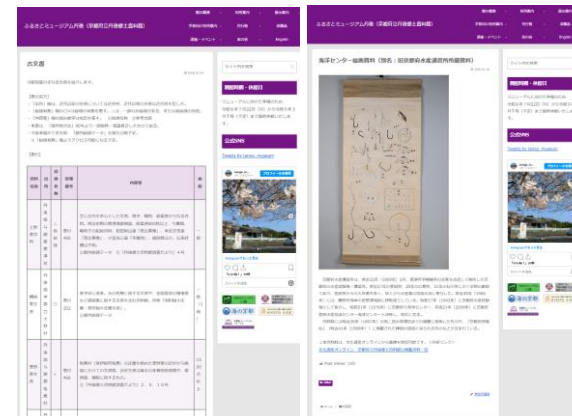
#### 2. デジタルアーカイブの取組み（これまで）

##### 公開状況

◆デジタルアーカイブサイト：なし  
※2026年1月30日 公式HPに「収蔵品」ページ追加

- ・古文書：表組で公開。
- ・美術工芸品、歴史資料：画像とテキストで公開。文化遺産オンラインのリンクも掲載。

◆資料の公開その他発信状況：  
ウェブサイトにて企画展チラシ、出品目録、刊行した図録を掲載。調査報告書、丹後遺跡めぐりガイドマップ等PDFを公開。  
◆掲載の頻度：  
お知らせは1～2ヶ月で都度更新。



▲公式HP  
古文書ページ

▲公式HP  
美術工芸、歴史資料ページ



▲令和5年度春季企画展  
「ミュージアムヒストリー -  
丹後郷土資料館のあゆみ -」

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

現地調査：2025年11月13日（木）実施

### ◆参加者

- ・京都府立丹後郷土資料館 資料課 [ ] 氏
- ・京都府立丹後郷土資料館 資料課 [ ] 氏

### ◆概要（撮影対象資料とご要望）

#### 1. 撮影対象と方法

- ・ハンモク織機は保管場所の体育館で組み立てが必要。
- ・着物、軸、紋紙図面などはみやづ歴史の館へ移動が可能。
- ・みやづ歴史の館で50点以上を撮影確保して、ハンモク織機は2月に別日程で撮影することも検討。
- ・絵馬の赤外線撮影に興味がある。
- ・ガラス乾板も撮影したいと考えている。古写真のカラー化も試してみたい。

#### 2. 課題、今後の展望

- ・デジタルアーカイブの公開はしておらず、まずデータの整理に難航している。
- ・リストと資料、データの照合ができていない。
- ・これからデータベース化して整理していきたい。
- ・デジタルデータにより、コンテンツを強化していきたい。
- ・データベースができれば教育活用もできる。ただし、学校等と連携して利用しやすい資料とそうでない資料がある。データベース的にアーカイブしたものが探究学習等の利用に適するかは異なる。活用目的のもとアーカイブ化しなければ利活用しにくいのではないかと。
- ・時間>人材>予算の順でハードルを感じている。圧倒的に人手不足。
- ・実地研修を受けたからと言って、施設職員だけで撮影し続けられるわけではないと思う。



▲収蔵資料（一部）



▲写真場 4F宮津市歴史資料館（休館中）  
展示室

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

### 実地研修 (1日目)

撮影準備、4日間の段取りの確認の後、事前に研修を終えている学芸員に対しピクセルシフト撮影の実習を行った。1日目は掛軸1点のみ撮影。

12月9日 火	Day 1	研修準備日	分類	数量
12:50	集合			
14:30	開始	撮影準備開始		
16:00		事前確認 (進め方等)	平面 (大)	1
17:00	終了・退出	実習 2名 (掛軸)		
			日計	1



▲撮影実習の様子



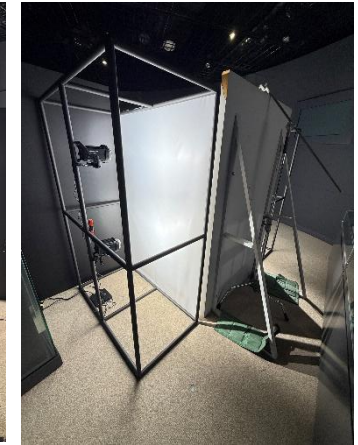
▲写場 (展示室内) 俯瞰撮影台を組み試写



▲撮影準備風景



▲撮影実習 掛軸 吊り撮影



▲吊り撮影セット 背面

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

### 実地研修 (2日目)

資料館職員の2名と宮津市職員の1名の計3名が研修に参加。撮影に関する基本的な考え方を座学にて講習を行い、セッティング済みの機材で実習を行った。フォーカスシフト撮影等の技術を体験するため立体物を撮影。その後、平面の基本的な撮影方法を実習した。

12月10日 水	Day 2	研修日	分類	数量
8:50	集合			
9:00	開始	撮影準備		
9:30		座学 3名(資料館職員2名、宮津市職員1名)		
9:45		実習(ティッシュ箱とスマホを用いた錯視体験) ※9:40~11:00まで機材トラブルのため、中断		
11:00		実習(勾玉/印章/ガラス釧) ※すべて複製品	立体	3
12:00				
13:30	昼休憩再開			
14:00		実習(掛軸7点/紋紙図面12点)	平面・平面(大)	19
17:00	終了・退出			
			日計	22



▲座学



▲撮影実習(ガラス釧)



▲データ確認方法の講習



▲撮影実習 撮影データ確認



▲撮影実習(紋紙図面)  
俯瞰撮影



▲撮影実習(紋紙図面)  
俯瞰撮影



▲撮影実習(掛軸)  
吊り撮影

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

### 撮影 (3日目)

撮影ブースを2か所に設置、同時並行で撮影を行った。俯瞰撮影では平面資料、吊り撮影では掛軸を撮影。大型絵図も別途大型撮影ブースを設置し、フォトステッチを前提とした撮影を行った。

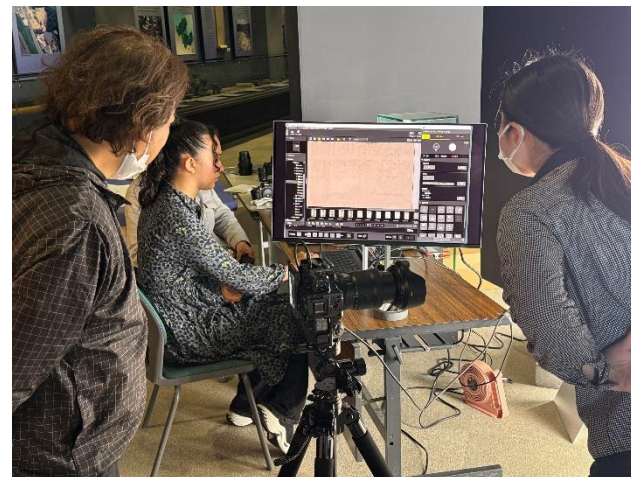
12月11日 木	Day 3	撮影 1 日目	種別	数量
8:50	集合			
9:30	開始	撮影準備 (展示ブースに箇所設置 吊り/俯瞰)		
10:30		撮影 (掛軸5点/引札16点)	平面・平面 (大)	21
12:00	終了 昼休憩			
13:00	再開			
13:30		撮影 (掛軸30点/大型絵図1点/引札15点)	平面・平面 (大) ・平面 (特大)	46
17:00	終了・退出			
			日計	67



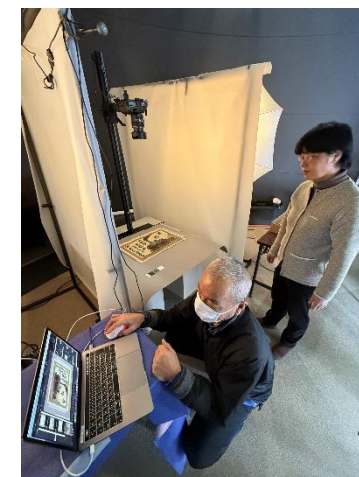
▲2か所に撮影台を組み、分担して撮影



▲掛け軸 吊り撮影



▲撮影したデータを拡大し、細かい文字が判読できるか確認



▲引札 俯瞰撮影



▲反りのある資料には「けさん」を使用

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

### 撮影 (4日目)

撮影ブースを2か所に設置し民俗資料の撮影を中心に行った。着物は資料の特性に応じたセッティングにて、繊維、柄、表裏の違いが見えるよう複数カットを撮影。俯瞰撮影台では大型絵図の撮影も行った。

12月12日 金	Day4	撮影2日目	分類	数量
8:50	集合			
9:00	開始	撮影準備		
9:30		撮影 (着物14点/大型絵図1点)	立体 (大) ・ 平面 (特大)	15
12:00	終了 昼休憩			
13:00	再開			
13:30		撮影 (着物6点/大型絵図1点)	立体 (大) ・ 平面 (特大)	7
15:00		～機材 撤収		
17:00	終了・退出			
			日計	22



▲2か所に撮影台を組み、分担して撮影 着物は衣桁を使用し撮影



▲大型絵図 俯瞰撮影



▲着物 俯瞰撮影

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

### 追加撮影 (5日目・ハンモク織機)

ハンモク織機の下に引かれたグレーのシートを活かし、不足する部分は、2,700mm幅のバック紙でカバーして撮影を行った。周辺に置かれてる部品を避けながら、アングルの調整 及びライティングを行った。

2月19日 木	EX 1	追加撮影準備日	分類	数量
15:00	現地到着	ハンモク織機 組立状況確認 翌日の打ち合わせ		
17:30	終了・退出			
2月20日 金	EX 2	追加撮影日	種別	数量
10:00	集合 開始  昼休憩	撮影準備	特殊	1
12:00		撮影 (メインカット)		
13:00		撮影 (バリエーション)		
14:45	終了・退出	撮影終了～機材 撤収	計	1
15:30				



▲2/19 の組み立て作業



▲組立途中の為 周辺に部品が存在



▲2/20 メインカットの撮影



▲2/20 バリエーションの撮影

撮影した資料点数  
: 113点 (231カット)

研修 : 23点/2日

- ・ 歴史資料(掛軸 : 8点)
- ・ 考古資料 (立体物 : 3点)
- ・ 民俗資料 (紋紙図面 : 12点)

DNP撮影 : 90点/3日

- ・ 歴史資料 (掛軸 : 35点) (大型絵図 : 3点) (引札 : 31点)
- ・ 民俗資料 (着物 : 20点) (ハンモク織機 : 1点)

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

### 撮影環境 (写場について)

みやづ歴史の館 4F 宮津市歴史資料館 (休館中) 85平方メートル  
展示室前の空間では事後に修正をする前提で自然光の中で撮影



▲宮津市歴史資料館 (休館中)  
展示室入り口  
展示物を一時的に移動させ  
写場として確保

#### ●パターン① ●パターン②



▲撮影実習  
(ガラス釧)



▲掛軸 (1日目) ▲着物 (4日目)

#### ●パターン③



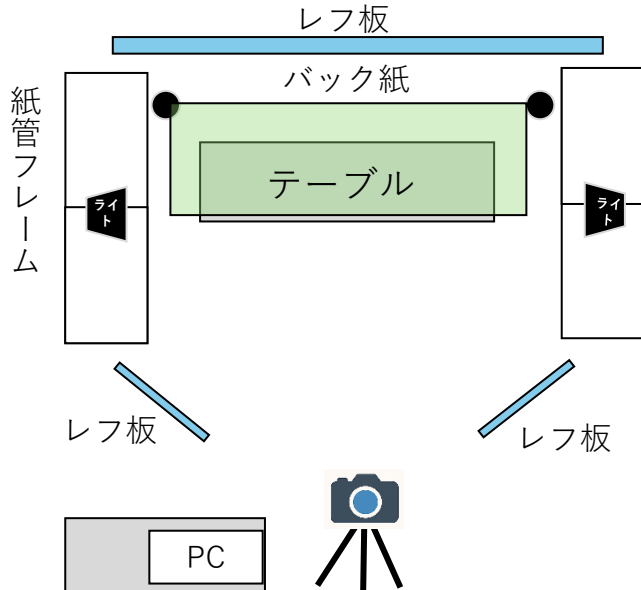
▲紋紙図面 (2日目)  
引札 (3日目)



▲大型絵図 (3, 4日目)  
着物 (4日目)

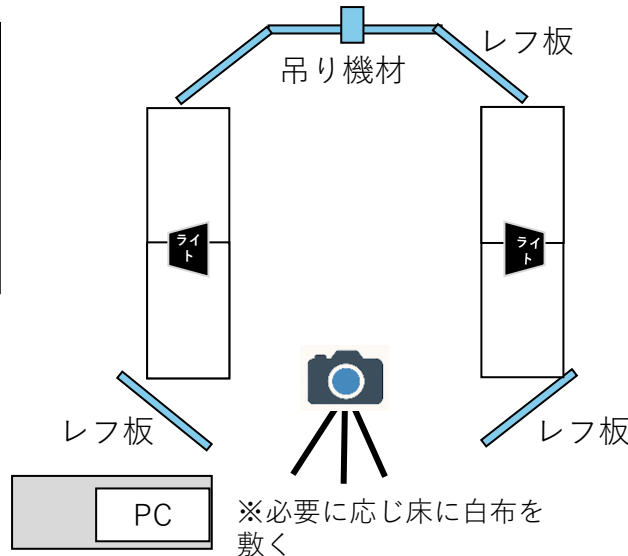
#### ●パターン①

小型立体物の撮影



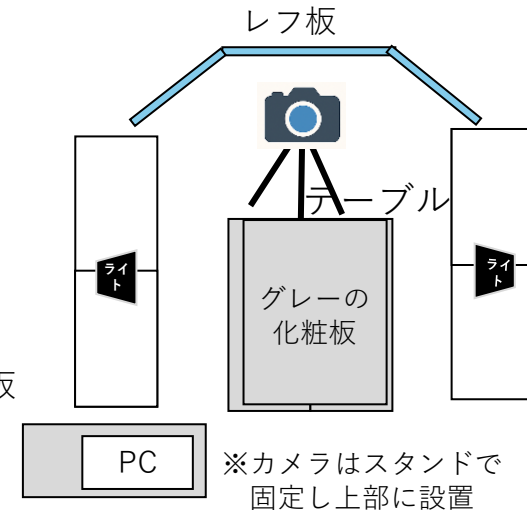
#### ●パターン②

吊り撮影 (掛軸等)  
衣桁を使用し着物も撮影



#### ●パターン②

長辺30センチ程度の平面  
大きい作品は必要に応じ脚立等  
で高所から撮影



## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

## 撮影リスト (1/4) ※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

撮影番号	作品名称1	作品群名	撮影日	撮影主体	サイズ	サイズ判定
1	鱻(ふか)及績(ふん)ノ種類 其一	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	104.0×78.2cm	平面(大)
2	鱻(ふか)及績(ふん)ノ種類 其二	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	119.8×79.1cm	平面(大)
3	鱻(ふか)及績(ふん)ノ種類 其三	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	119.5×78.1cm	平面(大)
4	漁具漁船類聚目的(1/2)	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	135.5×66.5cm	平面(大)
5	漁具漁船類聚目的(2/2)	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	135.2×66.5cm	平面(大)
6	章魚釣具	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	135.5×66.5cm	平面(大)
7	鈎 フナ・タナゴ・スズキ・ナマヅ・ウグヒ・クロダイ	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	138.8×48.9cm	平面(大)
8	鈎 カツヲ・マグロ・フカ	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	124.5×50.0cm	平面(大)
9	鈎 アユ・ヤマメ・ボラ・ウナギ	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	116.2×77.2cm	平面(大)
10	小鯛釣	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	136.0×67.9cm	平面(大)
11	鯛一本釣	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	136.3×66.6cm	平面(大)
12	甘鯛一本釣漁業	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	136.3×66.6cm	平面(大)
13	大魚其他釣	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	135.0×66.6cm	平面(大)
14	烏賊屋釣具・海鼠箱	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	134.5×66.5cm	平面(大)
15	鰯(いなだ)釣	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	135.4×66.6cm	平面(大)
16	鱈(きす)釣漁業	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	135.5×66.5cm	平面(大)
17	鱈(さわら)釣具	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	138.0×66.7cm	平面(大)
18	鯖(さば)釣漁業	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	137.0×66.7cm	平面(大)
19	鯖真鯛甘鯛黒鯛鯉魚配縄具	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	136.3×68.0cm	平面(大)
20	鰯釣(附随)漁業鮫捕獲法	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	136.5×66.7cm	平面(大)
21	桂網	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	120.0×79.5cm	平面(大)
22	鰻(ぼら)網	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	136.5×66.7cm	平面(大)
23	魰(えり)曳網	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	137.0×66.7cm	平面(大)
24	越中網	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	135.0×66.5cm	平面(大)
25	舳(はしけ)漁船	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	136.6×66.7cm	平面(大)
26	與謝郡宮津町漁場図	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	135.8×62.7cm	平面(大)
27	與謝郡養老村漁場図 其ノ二	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	111.4×62.0cm	平面(大)
28	與謝郡伊根村漁場図	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	128.0×99.1cm	平面(大)
29	與謝郡栗田村漁場図 其ノ三	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	128.5×120.0cm	平面(大)

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

## 撮影リスト (2/4) ※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

撮影番号	作品名称1	作品群名	撮影日	撮影主体	サイズ	サイズ判定
30	第壱号 搾粕製法図解 寒天製造図解	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	112.0×26.8cm	平面 (大)
31	第壱号 釣魚図解	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	107.0×32.4cm	平面 (大)
32	日本重要水産動物図解解説附録	海洋センター絵画資料	12月11日	DNP	107.0×34.7cm	平面 (大)
33	鈎 サバ・カワハギ・アラ・イサキ・ウツボ・エソ・ママカリ・ハモ・ヒラメ	海洋センター絵画資料	12月10日	研修で撮影	98.5×65.2cm	平面 (大)
34	カムチャツカ産鮭鱒の種類	海洋センター絵画資料	12月10日	研修で撮影	104.0×76.0cm	平面 (大)
35	カムチャツカ産鮭鱒の種類	海洋センター絵画資料	12月10日	研修で撮影	104.0×76.0cm	平面 (大)
36	樽烏賊鯛 (たるいかするめ) (1)	海洋センター絵画資料	12月10日	研修で撮影	152.5×50.5cm	平面 (大)
37	樽烏賊鯛 (2)	海洋センター絵画資料	12月10日	研修で撮影	153.0×49.5cm	平面 (大)
38	水鯛 (みづするめ)	海洋センター絵画資料	12月10日	研修で撮影	155.0×53.0cm	平面 (大)
39	舞鶴町蒲鉾実写図 其ノ一	海洋センター絵画資料	12月10日	研修で撮影		平面 (大)
40	舞鶴町蒲鉾実写図 其ノ二	海洋センター絵画資料	12月10日	研修で撮影		平面 (大)
41	紋紙図面 扇		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
42	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
43	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
44	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
45	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
46	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
47	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
48	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
49	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
50	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
51	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
52	紋紙図面		12月10日	研修で撮影		平面 (大)
53	辛皮山論絵図	-	12月11日	研修で撮影	194×243.5cm	平面 (特大)
54	縮緬地単衣紋付喪服	鞭家資料	12月12日	DNP		立体 (大)
55	黒縮緬地縫取紋付羽織	鞭家資料	12月12日	DNP		立体 (大)
56	黒縮緬地単衣紋付羽織	鞭家資料	12月12日	DNP		立体 (大)
57	黒縮緬地菊桐に流水模様留袖	鞭家資料	12月12日	DNP		立体 (大)

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

## 撮影リスト (3/4) ※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

撮影番号	作品名称 1	作品群名	撮影日	撮影主体	サイズ	サイズ判定
58	イトサックリ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
59	サックリ (袖無し)	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
60	イトザックリ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
61	サックリ (袖無し)	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
62	サックリ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
63	サキヨリ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
64	サキヨリ (男物)	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
65	サキヨリ (女物)	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
66	サックリ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
67	ドンザ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
68	サシコ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
69	ドウジ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
70	サシコ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
71	サシコ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
72	サシコ	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
73	サシコハンテン	丹後の紡織用具及び製品	12月12日	DNP		立体 (大)
74	引札	三上家文書	12月11日	DNP		平面
75	引札	三上家文書	12月11日	DNP		平面
76	引札	三上家文書	12月11日	DNP		平面
77	引札	三上家文書	12月11日	DNP		平面
78	引札	三上家文書	12月11日	DNP		平面
79	引札	三上家文書	12月11日	DNP		平面
80	引札	三上家文書	12月11日	DNP		平面
81	引札	三上家文書	12月11日	DNP		平面
82	引札	三上家文書	12月11日	DNP		平面
83	引札	三上家文書	12月11日	DNP	27.5×42.5cm	平面
84	引札	三上家文書	12月11日	DNP	58.5×33.0cm	平面
85	引札	三上家文書	12月11日	DNP	39.1×54.2cm	平面
86	引札	三上家文書	12月11日	DNP	38.6×54.4cm	平面

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

## 撮影リスト (4/4)

※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

撮影番号	作品名称1	作品群名	撮影日	撮影主体	サイズ	サイズ判定
87	引札	三上家文書	12月11日	DNP	39.5×54.5cm	平面
88	引札	三上家文書	12月11日	DNP	38.7×54.3cm	平面
89	引札	三上家文書	12月11日	DNP	39.6×53.9cm	平面
90	引札	三上家文書	12月11日	DNP	56.6×39.7	平面
91	引札	三上家文書	12月11日	DNP	49.5×34.7	平面
92	引札	三上家文書	12月11日	DNP	29.5×45.8cm	平面
93	引札	三上家文書	12月11日	DNP	27.8×21.1cm 厚さ 約1.2cm	平面
94	引札	三上家文書	12月11日	DNP	27.8×21.1cm 厚さ 約1.2cm	平面
95	引札	三上家文書	12月11日	DNP	29.5×45.8cm	平面
96	引札	三上家文書	12月11日	DNP	37.7cm×52.7cm	平面
97	引札	三上家文書	12月11日	DNP	雀図 (一番大きい) : 74cm×56.5cm (額入りの状態の外寸)	平面
98	引札	三上家文書	12月11日	DNP	寸法未測定 25cm×15cm×15cmほどか	平面
99	引札	三上家文書	12月11日	DNP	90.6×157.2cm	平面
100	引札	三上家文書	12月11日	DNP	28.0cm×23.5cm×19.0cm	平面
101	引札	三上家文書	12月11日	DNP	29.5cm×15.4cm×13.5cm	平面
102	引札	三上家文書	12月11日	DNP	胴径1.4cm、胴長6.0cm	平面
103	引札	三上家文書	12月11日	DNP	胴径1.9cm、胴長5.2cm	平面
110	勾玉	複製品	12月10日	研修で撮影	口径25.4cm、残存高8.8cm	立体
111	印章「丹後国印」	複製品	12月10日	研修で撮影	口径31.0cm、残存高7.0cm	立体
112	ガラス釧	複製品	12月10日	研修で撮影	口径27.0cm、残存高9.0cm	立体
113	ハンモク織機		2月20日	DNP		特殊

## 2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (2) 京都府立丹後郷土資料館

### 施設ヒアリング：デジタルデータの活用イメージ・アイデア

- 学校と連携しての活用を視野に、郷土学習をプログラム化する取り組みを検討している。
- デジタルデータは展示・教育・研究・広報に活用しているほか、収蔵品以外にも地域文化財の画像を預かり、画像貸出やデジタル閲覧に対応している（現物は現地保管で、所蔵者が直接扱えない場合などに対応）。外部研究者は来館のうえデジタル閲覧を行っている。
- 今後は目録の公開や、館内での活用を進めたいと考えている。
- 絵葉書のデジタル化も進めており、画像提供依頼（例：股のぞき）に対応している。デジタル化にはカメラ、フィルムスキャナ、フォトショップを使用している。

### 施設ヒアリング：課題

- 2つの見せ方を、同一のアーカイブシステムで公開したいと考えている。①1点の資料を高精細画像で閲覧でき、②かつ、1件に多数の点数を含む資料群の公開を両立したい。また、民具を形態や用途で検索できる機能も求めている。しかし、作品目録のデータ化が進んでいない。
- データ入力や撮影の時間確保が難しく、資料は分類ごとに担当学芸員が個別管理している。分野横断的な把握が十分でない。
- デジタルアーカイブ公開やデータ活用を進めたいが、来館者数への効果をどう示すかが課題である。
- 予算申請時に活用できる指標を求めている。
- 地域的事情からガイドの担い手も不足している。
- リニューアルや文化観光への対応、誘客促進も課題であり、文化観光のハブとしての役割が期待されている。
- 運営面では、時間・人材・予算が脆弱。
- データ入力にとれる時間は月1回が限度で、本事業では文化遺産オンライン対応のため半日確保する予定。

### その他

- 来館者数は特別展開催時に増加する。
- これまで地元密着型博物館として、調査研究に基づく成果を紹介する展示を行ってきた。